

お得意様各位

平成24年1月5日

株式会社 タテムラ
システムサービス課
福生市牛浜104

System-V/LX 新個人決算書、法人税・地方税電子申告システムの送付について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお取引を賜り誠にありがとうございます。

さてこの度、新個人決算書をリリースする運びとなりました。

3月に起きた大震災の影響により、税制改正の延期、複数回の改正、また電子申告も通常8月に行われる内容がこの1月4日になる等、例年通りではなかったことにより新個人決算書プログラム開発の見通しが立たず、お客様には事前のお知らせができなかったことをお詫び申し上げます。突然のお知らせとなってしまいました。個人決算書プログラムをより使いやすく機能を一新しましたので、今年度より個人決算書作成には【320】新個人決算書プログラムをご利用下さいませようお願い申し上げます。

従来版【300】個人決算書プログラムで入力していたデータは、【320】新個人決算書プログラムを開いた際に自動的に移行しますので引き続きご利用いただけます。（※変換後のデータ確認は必ず行ってください。）

また、確定申告を電子申告する場合、個人決算書の電子申告データ変換は【320】新個人決算書で作成したデータでの変換になりますのでご注意ください。

電子申告システムをお持ちのお客様には、法人税及び地方税の電子申告システムの更新版も一緒にお届け致します。今回の更新により平成23年6月30日以後終了事業年度の電子申告で、新法人税申告書対応の全表変換・送信ができるようになっています。

尚、1月4日にe-Taxソフトもバージョンアップしております。e-Taxを呼び出して更新作業を行って(P.6参照)いただきますようお願い致します。（e-Tax更新を行わないとデータ変換が正しくできませんので必ず行って下さい。）

※平成23年度の所得税確定申告書システム及び、個人決算書を含む確定申告電子申告はまだ行えません。

詳しくは、案内文の更新内容をご一読いただき、ご確認下さいますようお願い致します。今後とも倍旧のお引き立ての程、宜しくようお願い申し上げます。

敬具

送付資料目次

※改正保守のご加入(未納含む)に基づき、以下の内容を同封しております。

送付プログラム

- ・ System-V/LX用 平成23年新個人決算書・法人税、地方税電子申告更新 CD-R 1枚
電子申告・地方税電子申告環境設定

※サーバーが複数台ある場合でも共通で使用できます。

取扱説明書

CD-R内にPDFファイルとして入っています。

案内資料

- ・ 同封物の解説及びバージョン一覧表 1
- ・ [1000]プログラムの更新作業 2～3
- ・ 環境設定インストール方法 4～6
- ・ 新個人決算書プログラム データ移行、各変換項目の注意点 7～11
- ・ 電子申告システム更新内容 12

送付内容のお問い合わせ先

送付内容に関するお問い合わせにつきましては、サービス課までご連絡下さいますようお願い致します。尚、保守にご加入のお客様はフリーダイヤルをご利用下さい。

TEL 042-553-5311 (AM10:00～12:00 PM1:00～3:30)
FAX 042-553-9901

以上

以下のCD-Rを同封しています。



今回送付したCD-Rには

- ・新個人決算書プログラム（新規）
- ・法人税・地方税電子申告関連プログラム更新
- ・電子申告・地方税電子環境設定
- ・取扱説明書PDF

を1枚に入れて送付しています。

No.	ラベル名	枚数	備考
1	System-V / LX 平成23年 新個人決算書法人税電子申告 ・地方税電子申告更新 電子申告・地方税電子環境設定 取扱説明書PDF	1	プログラムインストールCD-Rです

転送後のバージョン確認

下記プログラムは **F 9** (申告・個人・分析)の2頁目、 **F 10** (データ変換)の1頁目に表示します。

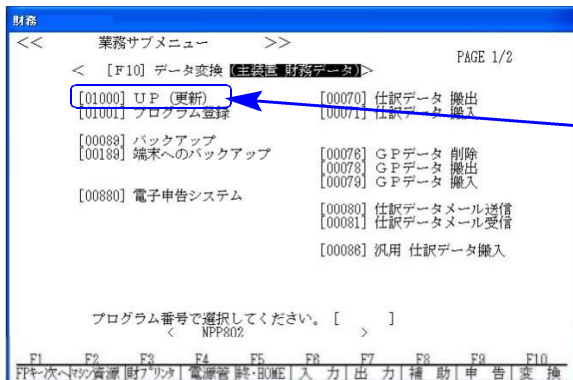
PG番号	プログラム名	HD-VER	備考
320	新個人決算書プログラム	V-1.00	新システムにすることにより、より使いやすくなりました。 【300】 従来版プログラムで作成していたデータは、新プログラムでユーザコード・年度を指定すると自動的に移行しますので、そのままご利用いただけます。(※変換後の確認をお願いします。) 電子申告を行う場合は、新プログラムでデータ入力して下さい。従来版データは変換できませんのでご注意下さい。
880	電子申告システム	V-1.13	・法人税申告書の平成23年6月30日以後終了事業年度の電子申告に対応致しました。 ・地方税電子申告eLTAX 平成23年12月19日サービス開始団体の更新に対応致しました。

●バージョン確認後

環境設定のCD-Rは必ず保管して下さい。(機械が故障した際に使用します。)

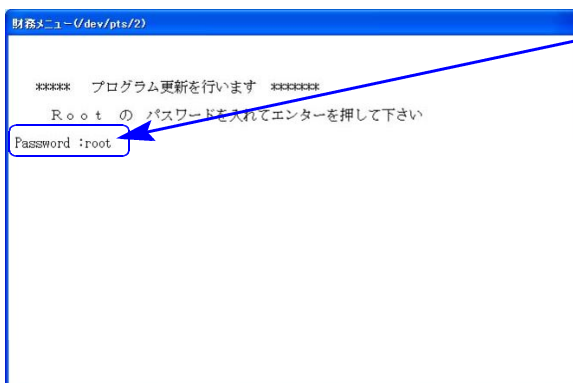
● 操作方法

- ① 「平成23年 新個人決算書・法人税電子申告更新～2012.01」と書かれているCD-Rを用意します。
- ② **F10** データ変換のメニューを呼び出します。



初期メニューより **F10** データ変換を選択します。**[1000] UP (更新)** を呼び出します。

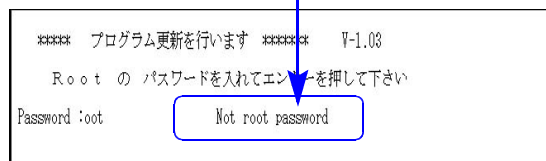
1000 **Enter** を押します。



Enter を押します。
(rootは入力しません)

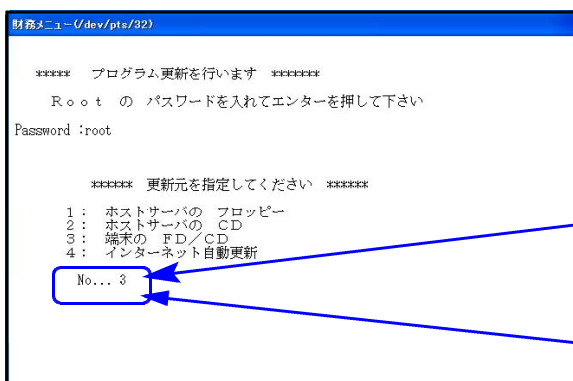
root は消さないように注意して下さい。

※パスワードを消した場合エラーを表示します。



※ LX:2005年7月以前納品の機械(LX-TURB010)は、2:ホストサーバのCDで作業して下さい。

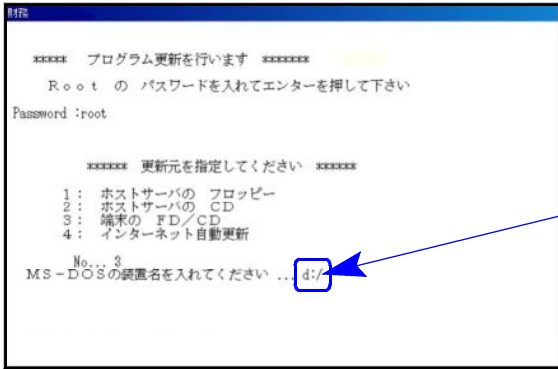
- ③ 下図の画面を表示します。



「平成23年 新個人決算書・法人税電子申告更新～2012.01」と書いてあるCD-Rをセットして、『3』端末のFD/CDを選択します。

3 **Enter** と押します。

※ 親機にCD-Rをセットした場合は
2 **Enter** を押します。
→ ⑤へ移動



- ④ 『3』 端末のFD/CDを選択すると『MS-DOSの装置名を入れてください..d:¥』等、前回指定したドライブ名を表示しますのでCD-ROMのドライブ名を確認します。

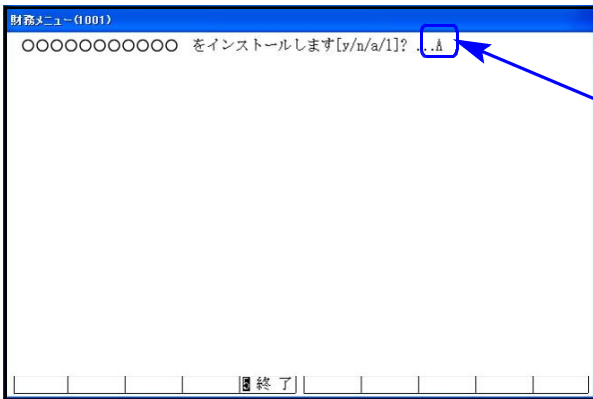
表示したドライブ名が違う場合は、入力後 **Enter** を押します

※お客様の機械によってドライブ名は異なります。下記の方法で確認して下さい。

CD-ROMのドライブ名の確認方法

マイコンピュータを開きます。
CD-ROMのドライブを確認して下さい。

左図の場合はCD-ROMドライブは『D』です。



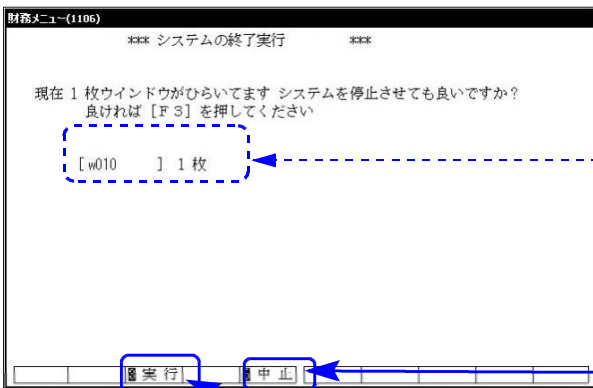
- ⑤ インストールを実行します。
左図の1行目の画面を表示します。
『OOOをインストールします[y/n/a/1? …]』
a 又は **1** を選択します。

※誤って、**y** を選択した場合は2行目以降で **a** 又は **1** を選択して下さい。

- ⑥ 2行目以降を表示します。
終了が出た後しばらくお待ち下さい。

- ⑦ インストールが終了すると左図の画面を表示します。
CD-Rを本体から取り出してください
他の端末が起動していないことを確認します。

※ここに複数表示する場合は他の端末が動作中です。一旦終了して下さい。
1台のみの場合は現在作業している機械です。



単体の場合

中止(F 5)を何回か押してシステムを終了しWindows画面、もしくはポータル画面まで戻ります。戻った後、3分ほど待ち、再度システムを起動して下さい。

ネットワークの場合

実行(F 3)を押し、しばらくお待ち下さい。左図の画面を表示した後、しばらくすると自動的に**マルチ端末が終了**、その後親機の電源も自動的に切れて再起動します。(※親機の電源が切れたあと5分ほど待っても再起動しない場合は、電源ボタンを押して起動させて下さい。)

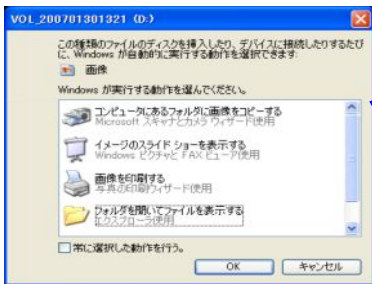
※親機を複数台持っている場合は、本CD-Rにて更新作業を同様に行ってください。

転送前の確認事項

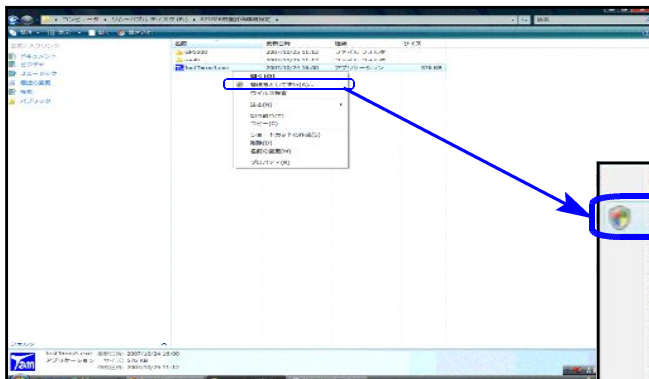
- インストールを行う際は、全てのプログラムを終了して下さい。（マルチウィンドウ端末も閉じて下さい。）※電子申告システムをご利用になっていないコンピュータでは作業不要です。

インストールは下記に沿って各端末機で行って下さい。

1. 今回送付した「平成23年新個人決算書・法人税電子申告更新～2012.01」と書いてあるCD-Rを用意して、端末機にセットします。
2. コンピュータ(XPはマイコンピュータ)をダブルクリック→CD-ROMドライブをダブルクリックします。CD-Rの内容を表示しますので、『InstIams4.exe』を右クリックし、手順3へ。(XPの場合は、『InstIams4.exe』をダブルクリックして手順5へ)



※CD-Rをセット後、左図を表示した場合は『フォルダを開いてファイルを表示する』を選択します。OKにマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押すと右上の画面を表示します。



3. 左図の画面より『管理者として実行』にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押します。(クリック)



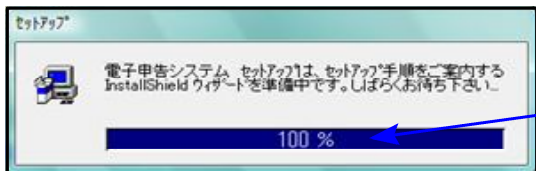
4. Vistaは左図の画面を表示しますので、「許可」マウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押します。(クリック)

7は「許可しますか?」と表示しますので「はい(Y)」にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押します。(クリック)

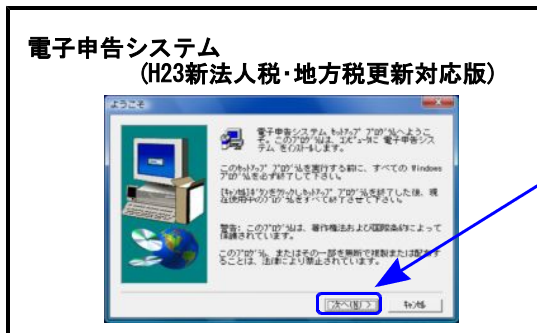


5. 左図の画面を表示します。
電子申告システムの『新規』にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押します。

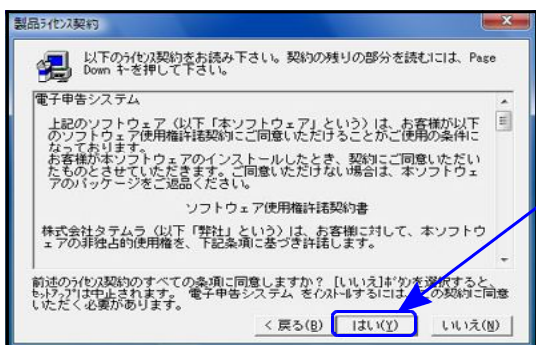
次の画面が出るまでしばらくお待ち下さい。



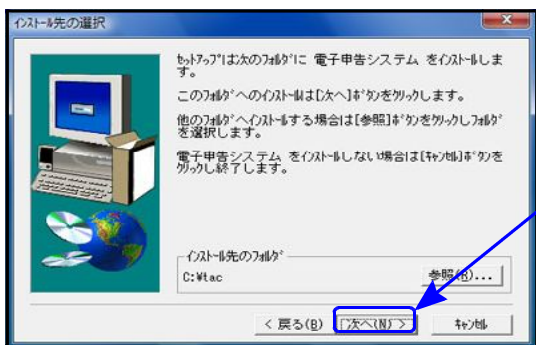
6. 左図の画面を表示します。
「100%」になるまでお待ち下さい。



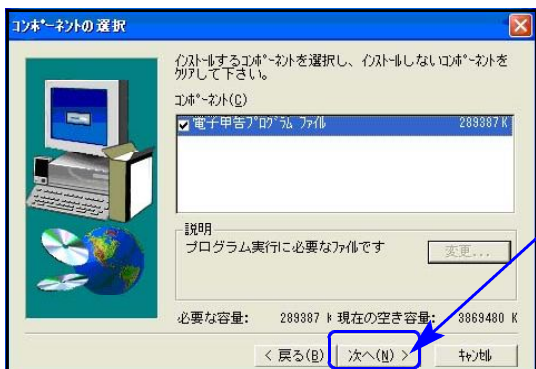
7. 左図の画面を表示します。
マウスの矢印を「次へ」に合わせ左ボタンを1回押します。(クリック)



8. 左図の画面を表示します。
マウスの矢印を「はい」に合わせ左ボタンを1回押します。(クリック)



9. 左図の画面を表示します。
マウスの矢印を「次へ」に合わせ左ボタンを1回押します。(クリック)
しばらくお待ち下さい。



10. 左図の画面を表示します。
マウスの矢印を「次へ」に合わせ左ボタンを1回押します。(クリック)
しばらくお待ち下さい。



11. 「セットアップ完了」と表示したらマウスの矢印を「完了」に合わせて左ボタンを1回押します。(クリック)

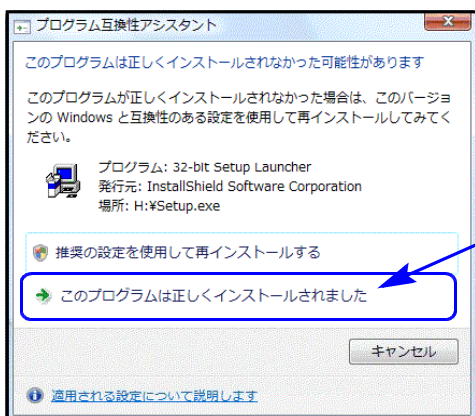


12. 左図の画面に戻ります。

マウスの矢印を **閉じる** に合わせて左ボタンを1回押します。

13. CD-Rを取り出し、Windowsを再起動して下さい。

以上でインストール作業は終了です。



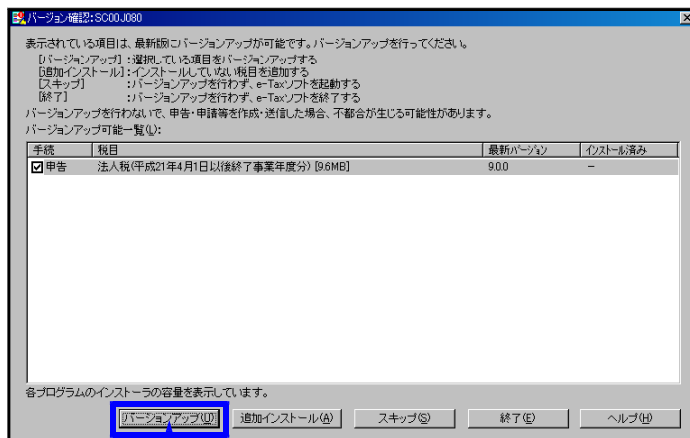
※7/Vistaの場合で、インストール終了後に左図の画面を表示した場合は

「このプログラムは正しくインストールされました」にマウスの矢印を合わせ、左ボタンを1回押します。(クリック)

e-Taxソフトも更新が必要です

電子申告を行うにあたって、e-Taxソフトは不可欠です。平成24年1月4日にe-Taxソフトでも更新がありましたので、バージョンアップ作業を行って下さい。

1. デスクトップ上のe-Taxソフトのアイコンをダブルクリック。
2. インターネット接続をOK→国税庁からのお知らせをOK、にして進んで下さい。



3. 上記の画面が表示されましたら、「バージョンアップ」をクリックし、画面に従ってバージョンアップ作業をお願い致します。

新個人決算書プログラム ～[300]個人決算書→[320]新個人決算書へデータの移行～ 12.01

新個人決算書プログラムをリリースする運びとなりました。
平成23年の申告より新個人決算書にて入力を行って頂きますようお願いいたします。事前のお知らせができず急なリリースとなってしまいました。ご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

[320]新個人決算書プログラムでユーザコードと年度を指定して[11]個人決算書を開くだけで
[300]従来版個人決算書プログラムのデータを自動変換します。

尚、[300]個人決算書プログラムも従来通り使用は可能ですが、確定申告システムでの個人決算書データ読込、及び電子申告への変換は、平成23年の申告より[320]新個人決算書データが対象となりますのでご注意ください。

1. **F9** (申告・個人・分析)の2頁目の[320]新個人決算書を選び出します。

2. ユーザコードと年度を指定し、[11]個人決算書を選び出します。

ユーザコード: 103006 ユーザ名: 山田太郎 青色一般

※選択No.に表番号を入力して頂くか、緑色の表名にマウスを合わせてクリックで各表を表示します。(スペースで呼び出しも可能です。)
区分には下記に該当する番号を入力して下さい。

[1]使用する [2]使用しない 選択No. []

区分	表番号及び別表名	区分	表番号及び別表名
1	[11] 青色一般 P.1	2	[41] 収支一般 P.1
	[12] " P.2		[42] " 減価償却
	[13] " 減価償却		[43] " P.2
	[14] " P.3		[51] 収支不動産 P.1
2	[15] " P.4	[62] " 減価償却	
	[16] 青色医師の付表	[53] " P.2	
2	[21] 青色不動産 P.1	2	[61] 収支農業 P.1
	[22] " P.2		[62] " 減価償却
	[23] " 減価償却		[63] " P.2
	[24] " P.3		【科目設定】
2	[25] " P.4	[101] 青色一般	
	[31] 青色農業 P.1	[102] 青色不動産	
	[32] " P.2	[103] 青色農業	
	[33] " 減価償却	[104] 収支一般	
2	[34] " P.3	[105] 収支不動産	
	[35] " P.4	[106] 収支農業	

※区分[1]の場合に表名が緑色のサブミットになります。
緑色の表のみ、入出力及び電子申告変換が可能です。

3. 左図の個人決算書のメニュー画面を表示します。

[300]個人決算書を元に、データのある表の区分が『1』となります。

※[300]の各様式データは変換しますが、所得金額が空欄の場合は区分『1』になりません。
データ入力を行う場合は手動で『1』にして下さい。

変換した表のデータにつきましては次頁の手順で確認して下さい。

● 各変換項目の注意点

[300]従来版個人決算書→[320]新個人決算書へのデータ自動変換での各項目の注意点をまとめました。

新個人決算書プログラムにてデータ確認の際、ご参照下さい。

[各様式共通]

給料賃金・専従者の給与欄の「従事月数」

12以上の数字 ⇒12 とします。(※電子申告でエラーするため)

[各様式]

青色一般 ※減価償却除く			
項目名		変換注意内容	
P1	売上収入金額	[1]	上段に金額があった場合は、上書きへ転記 通常計算ではP.3より転記しますが、上書きへ転記 通常計算ではP.3より転記しますが、上書きへ転記
	仕入金額	[3]	
	利子割引料	[22]	
	地代家賃	[23]	
P2	貸倒：本年繰入額	[4]	変換はせず、自動計算です。金額が違う場合は手入力して下さい。 変換はせず、青色不動産より転記します。金額が違う場合は手入力して下さい。
	不動産所得金額	[6]	
	青色申告特別控除前の所得金額	[7]	手入力フラグに『1』があった場合は上書きへ転記 手入力フラグに『1』があり金額が空欄の場合は『.』を転記 手入力フラグに『1』があった場合は上書きへ転記 手入力フラグに『1』があり金額が空欄の場合は『.』を転記
	青色申告特別控除	[8]	
	青色申告特別控除	[9]	
印刷項目設定に印刷するしないのフラグを転記しています。 申告年度・プリントNo・P.1.2番号等・P.4貸借対照表の印刷有無			
青色一般—医師の付表			
項目名		変換注意内容	
表裏	2.自由診療割合調整率		1.診療日数による割合又は2.収入による割合いずれか大きい方へ調整率がつきます。違う場合は手直しして下さい。 80.75.85の場合に変換します。それ以外は空欄 選択して下さい。 金額が有りの時に、『転記する場合はチェックして下さい』にチェックが付きます。
	口特典経費分 イ)損益計算書[38]		
青色不動産 ※減価償却除く			
項目名		変換注意内容	
P1	賃借料	[1]	上段に金額があった場合は、上書きへ転記 通常計算ではP.3より転記しますが、上書きへ転記 通常計算ではP.3より転記しますが、上書きへ転記 手入力フラグに『1』があった場合は上書きへ転記 手入力フラグに『1』があり金額が空欄の場合は『.』を転記
	礼金・権利金等	[2]	
		[3]	
	借入金利子	[9]	
	地代家賃	[10]	
P2	青色申告特別控除	[22]	
P2	賃貸契約期間		元号自年48～64が入った場合は昭として転記 月額金額は新システムより2段書き可 変換時は下段へ転記
P3	借入金利子の内訳		15→10行としました。
印刷項目設定に印刷するしないのフラグを転記しています。 申告年度・プリントNo・P.1.2番号等・P.4貸借対照表の印刷有無			

青色農業 ※減価償却除く			
項目名		変換注意内容	
P1	販売金額	[1]	上段に金額があった場合は、上書きへ転記
	家事・事業消費金額	[2]	
	雑収入	[3]	
	農産物の棚卸高 期首	[5]	
	〃 期末	[6]	
	雇人費	[22]	
	農産物以外の棚卸高 期首	[32]	
	〃 期末	[33]	
経費から差し引く果樹牛馬等	[34]		
利子割引料	[23]	通常計算ではP.3より転記しますが、上書きへ転記	
地代・賃借料	[24]	通常計算ではP.3より転記しますが、上書きへ転記	
P3	F果樹・牛馬等 取得・生産等の年月日	年号の英数・年・月・日「例:Hyymmdd」すなわち「H230103」ならば変換。※上記入力方法でない場合は空欄となります。	
P4	青色申告特別控除 前の所得金額	[ト]	手入力フラグに『1』があった場合は上書きへ転記 手入力フラグに『1』があり金額が空欄の場合は『.』を転記
	青色申告特別控除	[リ]	手入力フラグに『1』があった場合は上書きへ転記 手入力フラグに『1』があり金額が空欄の場合は『.』を転記
印刷項目設定に印刷するしないのフラグを転記しています。 申告年度・フリップNo・P.1.2番号等・P.4貸借対照表の印刷有無			
収支一般 ※減価償却除く			
項目名		変換注意内容	
P1	地代家賃	[15]	通常計算ではP.2より転記しますが、上書きへ転記
	利子割引料	[16]	通常計算ではP.2より転記しますが、上書きへ転記
P2	地代家賃住所・氏名欄	漢字23文字→21文字へ	
印刷項目設定に印刷するしないのフラグを転記しています。 申告年度・フリップNo ※P.1番号は印刷する場合にチェックを付けて変換します。			
収支不動産 ※減価償却除く			
項目名		変換注意内容	
P1	賃借料	[1]	上段に金額があった場合は、上書きへ転記
	礼金・権利金等	[2]	
	名義書換料等	[3]	
	地代家賃	[9]	
	借入金利子	[10]	
P2	修繕費	[ハ]	通常計算ではP.2より転記しますが、上書きへ転記
	賃貸契約期間		元号自年48～64が入った場合は昭として転記 月額金額は新システムより2段書き可変換時は下段へ転記
P2	修繕費の住所・氏名		1段目→1段目 2段目→3段目 1段目→1段目 2段目→3段目
	地代家賃の住所・氏名		賃借物件は1行文字数を9文字から8文字とし、上下段データを3段に分割して転記。データ変換の場合は、詰めて変換します。
印刷項目設定に印刷するしないのフラグを転記しています。 申告年度・フリップNo ※P.1番号は印刷する場合にチェックを付けて変換します。			
収支農業 ※減価償却除く			
項目名		変換注意内容	
P1	販売金額	[1]	上段に金額があった場合は、上書きへ転記
	家事・事業消費金額	[2]	
	雑収入	[3]	
	農産物の棚卸高 期首	[5]	
	〃 期末	[6]	
	雇人費	[8]	
	小作料・賃借料	[9]	
	経費から差し引く果樹牛馬等	[ラ]	
P2	F果樹・牛等 取得・生産等の年月日	年号の英数・年・月・日「例:Hyymmdd」すなわち「H230103」ならば変換。※上記入力方法でない場合は空欄となります。	
印刷項目設定に印刷するしないのフラグを転記しています。 申告年度・フリップNo ※P.1番号は印刷する場合にチェックを付けて変換します。			

各減価償却		変換注意内容
項目名		
取得年月		年が48～64は元号を昭へ、それ以外は平として転記
償却方法	0. 旧定額	12: 旧定額 ※空欄も旧定額法として変換 ※期首簿価が取得価額×0.05以下は5%均等へ
	1. 旧定率	15: 旧定率 ※期首簿価が取得価額×0.05以下は5%均等へ
	2. 5年均等	16: 5%均等
	3. 定額	11: 定額
	4. 定率	13: 定率
	5. 改定償却	14: 改定償却
	6. 均等	19: 均等
	7. 一括	20: 一括
	8. 少額	21: 少額
	9. 手入力	23: 手入力※償却方法の下段に文字を転記
保証額		変換はせず、自動計算です。23: 手入力のみ変換します。
改定取得価額		5. 改定償却の場合、償却基礎金額と同額を改定取得価額へ転記
期首簿価		期首簿価へ転記
[口] 償却基礎金額		口償却基礎金額の上書きへ転記※自動計算する場合は金額を一端削除して下さい。
耐用年数		耐用年数へ転記 ※2～100までそれ以外は削除-電子申告でエラーの為
月数		月数へ転記 ※12月以上の場合は12となります。
償却率・改定償却率		償却率・改定償却率は耐用年数を見て自動計算します。 ※違う場合は償却率を手入力して下さい。-改定は手入力不可 ※6. 均等償却の場合は分子分母を自動計算します。 率で計算する場合は、償却方法は定額(無)無形固定資産を選択して下さい。
[木] 普通償却費		自動計算 ※計算フラグが「1」の場合上書きへ転記 ※計算フラグが「2」の場合、売却廃棄へチェックが付きます。
[へ] 割増特別償却		割増特別償却へ転記
[チ] 事業専用割合		事業専用割合を転記 ※空欄のデータは「0」として転記-新システムでは100が自動的に入ります。(手直し可)
[リ] 本年分必要経費		自動計算 計算フラグが『1』の場合上書きへ転記 計算フラグに『1』があり金額が空欄の場合は『.』を転記
摘要		摘要へ転記 ※各収支の文字数8文字→7文字-青色と統一(様式変換の為)
減価読フラグ		減読みフラグそのまま変換

法人税電子申告

* [882] 法人・送信データ作成で、新法人税申告書対応の全表が平成23年6月30日以後終了事業年度分データでも変換・送信できるようになりました。

[51:新法人税送信用データ変換]

平成23年6月30日以後終了事業年度分のデータ変換について

e-Tax(1月4日更新)で平成23年6月30日以後終了事業年度分の申告が全表可能になりましたので、弊社システムもこれに対応致しました。

変換時の選択は表示せず、事業期間の至年月日のみで変換するようになりました。

地方税電子申告

平成23年12月19日eLTAXサービス開始団体(八王子市、武蔵野市、狛江市等)に対応致しました。